

総務経済常任委員会記録簿

会議日時	令和7年 6月17日(火)	午後3:03~3:23
場所	議員控室	
出席委員	元井委員長	中村副委員長
	伊東委員	(向野委員)
欠席委員		
説明のための出席した者の職氏名		
付議事件	第三セクターに関する今後の調査・報告時期について	
担当職員名	喜屋武 純仁	委員長確認 ㊟
会 議 の 概 要		
<p>1. 委員会調査(フェリー・ドローン等)の報告時期について 決算との兼ね合い:5月の決算を待ってから報告すべきか等の議論があり、フェリーに関する調査報告は9月に行う予定である。 調査の進捗:フェリーについては1月~3月に聞き取り済みですが、決算等の数字を見てから最終的な補足を行う方針。 ドローン・公社:ドローンは始まったばかりで方向付けが難しいため、現時点での報告は困難という認識で一致した。第3セクター全体の調査は来年(8年)3月まで続く予定。</p> <p>2. 視察(第3セクター調査)の計画について 視察の目的:第3セクターのあり方、特に農業公社や成功事例などを調査し、現在の町の施策と比較・検討するための視察先を探す。 日程の調整:8月7日頃に視察を行う方向で調整しており、その前後の日程で検討した。</p> <p>3. 視察先候補の検討 三島村:焼酎工場などが挙がりましたが、移動手段(飛行機がない等)の面で難色が示されました。 枕崎市(有力候補):カツオ公社、お魚センター、木材加工、空港(エアポート株式会社)など、第3セクター(公社)が5~7つほどあり、1日で複数箇所を視察できるため有力候補として挙がりました。 南九州市:第3セクターではなく、廃校などの未利用施設を民間業者に賃貸して成功している事例(食品開発や宿泊等)があるとの情報提供がありましたが、今回の「第3セクター調査」の趣旨とは少し異なるとの指摘もありました。</p> <p>その他(石垣・宮崎):石垣島は民間委託であり第3セクターではないこと、宮崎県は以前視察を断られた経緯があることなどが共有されました。</p>		

4. 今後のアクション

決定期限:アポイントメントの都合上、6 月中には視察先を決定する必要があります。

宿題: 第3セクターで運営されている明確な事例(特に枕崎市など)を中心に、委員が情報を持ち寄って6 月中に結論を出すことになりました。

枕崎の場所確認:枕崎の施設はお魚センター周辺や橋を渡った場所などに集中しており、視察しやすいとの認識で委員会が終了しました。